

岡山県議会議員
子ども応援・学力向上対策等特別委員会委員長

太田まさたか

おおた



平成25年
初夏号
VOL.21

県政だより

Creative Life

自由と民主主義、国と地域を守れ！

編集責任者：太田正孝 岡山市北区延友455 TEL.(086)201-5523

心の上に刃を置いて政治を行います。

平素は私の議員活動に対しまして、温かいご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年の夏は暑くなりそうです。夏バテしないように、運動をしたり、食事には注意して頂きたいと思えます。

元横綱大鵬は「忍」という言葉が好きだったことをスペシャル番組で知りました。「忍」という字は心の上に刃と書きますが、「心の上に、刃を置いて生きてきた」と言葉を残しています。私は「忍」という漢字をこ

をとったことで、素晴らしい土俵人生にしたのです。

吉田松陰も「忍」という言葉に思いを持っていました。松陰は、

「忍びざる心は、仁義礼智の四端に繋がる」

と説いています。そして「忍びざる心は惻隱の情」と言い切ります。

「惻隱の情」とは「他人を思いやる心」のことです。孟子を勉強していた松陰はこの「惻隱の情」を、「羞惡・辞讓・是非」の心につながっていくとし、普通の人は誰もが持っている

「惻隱の情」を広げていく方法を知らないとも言っています。そして、忍びざる心の発展について「自分の良心が発動する糸口を自覚することだ」と教えています。

大鵬も吉田松陰も「忍」という字に並々ならぬ思いを込めていたことを知り、私自身の思いが、いかにこれまで浅はかであったのか自分を恥じるばかりです。

いま国の政治は強烈なりーダシップで長く暗かった時代と決別しようとしています。日本再生に大きな期待が持てるようになってきました。

一方、地方はどうなのか。地方の一翼を担う県は「産業振興」と「教育再建」を二本の柱にして、県の再生に汗をかこうとしています。この二つに加えて、疲弊している地域の再生が必要だと考えています。

地域とは何か？あまり意識されていないことだと思えます。それでは質問を替えます。地域の人と顔見知りでしょうか？近所の方とよくお話をするでしょうか？

もう少し話を進めます。どこから「他人を思いやる心」が生まれるのかを考えてみると、何かを一緒にしたという共通体験から生まれること

が多いのではないかと思うのです。近くの人ほど心理的にも共感できる部分が多くなるはずにもかかわらず、地域がこれまで持っていた一体感というものが薄くなってきました。

地域の人と話をするどころか顔をあまり知らない人も増えてきていて、地域活動は停滞しています。地域で子どもたちの置かれている環境を良くしようとか、自分の良心が発動する糸口を自覚できるような人を育てていくとかなければ、「地域再生」は起こらないと思うのです。

いまの我欲ばかりが煽られている状況から、他人を思いやる社会に戻していくことが、遠回りのように思われるかもしれませんが、地域再生への最短の道であると確信しています。

この夏は国の方向性を決めるだけでなく、地域にとっても大変重要な夏です。心の上に刃を置いて政治に取り組めます。これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

岡山県議会議員
子ども応援・学力向上対策等特別委員会委員長

太田 正孝

岡山市が政令市に移行して五年。県はもつとノウハウの伝授を。

岡山市が政令市に移行して五年。今年の小1グッドスタートもスクールソーシャルワーカーの予算は岡山市分については、県の補助金はゼロです。保健福祉、環境、道路だけでなく、教育も岡山市が独自でやっていかなければならない状況になっています。

それは産業振興についても同じです。

そういう状況なので、県は岡山市に頑張つて欲しいとエールを送りますが、私は県の持つノウハウをもつと伝えるべきだと考えています。このあたりを日頃の活動で重点をおいていますが、なかなか思うようにいきません。岡山県とか岡山市とか区別せずに、地域の発展のためにあらゆる連携を取るべきです。県と市の連携にもつともつと汗をかいていきます。



駅前中心地の開発

県議会人事 子ども応援・学力向上対策等 特別委員会委員長になりました。



岡山県議会は五月十五日に議会人事を行いました。県議会には6常任委員会があります。環境文化保健福祉委員会に議員7年目にして初めて所属。これで6常任委員会、全てに所属することになります。

私は岡山市議会で3期12年活動をしました。市議会の中にある環境消防水道委員会には入りたくても一度だけ(二年間)しか入れませんでした。どうも環境関係の常任委員会については片想いのまま思いが実らなかったのが今まででした。今回所属するこの委員会は環境問題だけでなく、文化振興、保健福祉と県民生活に密着する問題を多く取り扱います。

私は自民党県議団の中で、看護議員連盟の事務局長もしていますので、この関係も力いっぱいやらねばと意を強くしているところですよ。

もう一つ、特別委員会は子ども応援・学力向上対策等特別委員会です。こちらは二年連続で、しかも委員長ということになりました。岡山県は教育関係の数字はどれも厳しい数字ばかりです。これらの改善を図っていくための方策を練り上

げていくことが大きな役割ですが、あまりにも大きなテーマです。焦ってみてもいけませんから、長期的にみて、効果が出るようなことを考え、また実行できるような仕掛けづくりができればと思います。膨らませていきます。与えられた職務を全力でやります。

受験勉強だけでなく、教養を身に付けて心豊かな人に。

有名大学に進学したい理由の一つに、給料の高い仕事に就きたいというのがある。「恒産なくして恒心なし」という教えもあり、経済力を持ちたいというのは誰しもの思い。でも、教育が経済利益のためにあるのだろうか?今の時代、いい就職先と思われたところが、10年先、20年先、どうなっているのか保障されているわけではない。何があっても、乗り越えていく力が必要なのではなからうか?今になって、人間の教養をもつと身につけておけば良かったと後悔ばかりであるが、吉田松陰の時代は今の平均寿命の半分ぐらいであったらうから、まんざら手遅れでもないと思う、その関係の本を読む毎日です。知ると、何だか毎日が面白くなってきます。力も湧いてきます。子どもたちにも受験勉強ばかりだけでなく、こういうも



受験勉強だけでなく、教養を身に付けて心豊かな人に。

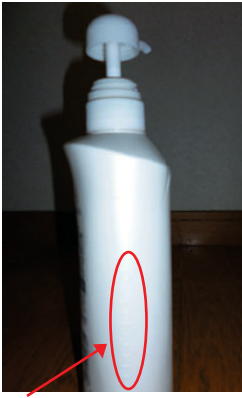
竹内昌彦先生に 勇気を頂きました。

四月十三日、県立図書館で竹内昌彦先生のお話を聞きました。竹内先生は幼少の頃、失明をされました。その後努力に努力を重ねられ、モンゴルの目の不自由な方々のために学校を造られました。この日、いっぱい良いお話をされましたが、一つだけ紹介をします。

◆1%を他人の為に

「母から立派な人間になる為に勉強をしろと教えられたが、今は自分の為に勉強をしろと言う人が多い。これは半分しか教えていない。人に役立つようになるべきである。」

(3)



本体の横にボツボツがある方がシャンプーです。

続けて、
「99%は自分の為に使えば良いが、残り1%は人の為に使って欲しい。」と訴えられました。

以前の私のなかにも自分が自分という気持が強くありました。いつしか、多くの人のためのおかげで、今の生活を送ることができていることに気づきました。竹内先生のお話は、私たちが気づいていなかったものを教えて下さいます。私たちはもつと気づかなければならないことが多くあると思います。竹内先生がおっしゃられるようにそれぞれが1%の力を人の為に使ったならば、どんな素晴らしい社会に変わっていきましょうか。

◆シャンプーの話

もう一つの話です。ボツボツはシャンプーの容器にはあります。知っていましたか？

一方、リンスの容器にはありません。「視覚不自由者は自分で髪も洗えない」と思っている人がいるかもしれないが、シャンプーとリンスの容器にはちゃんと印がある。ボツボツがあるのが、シャンプーで、ないのがリンスだ。」

と教えてくれました。今の今までそんなことは知りませんでした。その話の時、あわせて「皆さんも目をつむって洗うでしょ。視覚不自由者でも洗うことぐらいできるんですよ。」

と私達を笑わせてくれました。家に帰って、確認すると、確かにそうなっていました。日本のメーカーもやるじゃないかと感心してしまうばかりでした。その他にも、時計、万歩計などなど、視覚不自由者の為のものがいっぱい開発されています。シャンプー、リンスは家にあると思いますので、一度確認してみてくださいと思います。

今竹内先生の半生を映画にしようとする運動が始まっています。映画化されれば、人生の意味を考えるヒントを多くの人がいただけたと思います。映画の成功を心よりお祈り致します。

県民協働と言いながら、
県の役割は

地域には町内会や消防、水利土木、民生委員、愛育、婦人会、交通安全など様々な役をして下さっている人がいます。

ところが、これらの役のなり手がなくて、私の知人は一人で幾つかの役を受けざるを得なくて、受けているというのです。もうこれ以上行政が役を増やすとどうにもならない、現状も含めて何とかして欲しいと私に相談をもち

かけてこられました。受けた私は明快な解答ができず……。そんな自分が情けなくてたまりません。

さらに深刻なところがあります。過疎化が止まらない中山間地域です。そもそも役を受けてくれる人がいなくなっているとの話で、県民協働というもの、本当に厳しい現実があります。そのことに対して、県からは住民に直接関わっている市町村がまずはアクションを起こすべきとのスタンスがプリンプリン伝わって来ます。県は単なる市町村の相談窓口ということではないのでしょうか。そんなはずはないというのが私の思いです。住民が困っていることに積極的に関わっていきたいというのが私のスタンスです。どうにかして県を動かしたいものです。

おかやまマラソン(仮称)の
概要が発表されましたが、
費用の検討は
まだこれからです。

岡山県と岡山市の共催で行おうとしているおかやまマラソン(仮称)ですが、事業規模は35〜37億円になるという報告が県議会の担当委員会にありました。この見通し額には職員の人件費は入っていないようですが、入れてしまうと、5億円は超すのではないのでしょうか。そんなににもかかるのかとビックリされたんじゃないでしょうか。

マラソンって、ただ選手が走るだけだから、そんなに費用がかからないの

ではと思っている人がいるかもしれませんが、大間違いです。

この費用をどう賄うのか？

県当局は参加者1万5千人(フルマラソンは定員1万2千人)の参加費用を他の大会に習って、1万円とした場合、出場者からいただくお金は1億5千万円となります。

企業からの協賛金も他の大会並みと想定すれば、1億円でしょうか。残り岡山市との折半です。2億5千万円を2で割ると、1億2500万円です。

実はこれだけでは済みません。

警察の警備が必要になってきます。ボストンマラソンでテロもありましたので、警備に手抜きはできません。これまで以上の体制で臨まなければなりません。

こうした収支が明らかにされた上で、開催した時の効果がどうであるのかを議論すべきと強く思っています。

今まで色々なイベントが開催されてきましたが、一過性のイベントにしないためにも、こういうことについて皆さんに知って頂き、一緒に考えていき

たいと思います。



てくてくまさたか

各地で県政報告会

馬屋上
コミュニティハウス
(四月二十二日)



岡山空港や第二リサーチパークの中心にお話をさせて頂きました。

高松公民館
(四月二十三日)



足守川の河川改修など地元に着した話をさせて頂きました。

国際交流センター
岡山駅西口 (五月七日)



県の取り組む「産業振興」の状況を説明しました。報告の後半は教育問題を取り上げました。

犬養木堂墓前祭、
記念講演 (五月十五日)



臨時議会終了後、記念講演を聞き、犬養木堂記念館に行きました。たくさん聴衆でした。

県政報告会を致しますので、
声をお掛けください。

連絡先：太田正孝事務所 (TEL 086-201-5523)
月～金曜日 10時～16時

吉備小学校運動会
(五月二十六日)



日程が秋から春に変更されて、二回目です。最上級の組体操は見ごたえ十分でした。

宗治祭「備中高松城址にて」
(六月二日)



六月二日、宗治公四三一回忌 宗治祭が保興会並びに清水家ゆかりの方々、地域、関係者の方々のお世話で開催されました。次の大河ドラマは黒田官兵衛に決まりました。播磨からもお客様が大勢きていました。保興会長からは「官兵衛が敵であるという思いは腹の中にあるが、立派な武将であったことは間違いない。史実を忠実に伝えて欲しい」との挨拶がありました。

NHK関係者も出席していたので、意識しての挨拶でした。来年の大河ドラマで中国大返しの場合で宗治公がどう振られているのか注目したいと思います。

今回は何かと話題豊富でしたが、敗軍の将でありながら、四百有余年経った今でも地域から愛されていることは特筆すべきことです。私自身も祭典に参加して、本当に立派な人だったのだと感じました。

人の生き方として、何を大事にすべきなのか、何を守るべきなのか、宗治公から学ぶことはたくさんあります。宗治祭がこれからも続くことを願います。

編集後記

五月二十二日、委員の改選がされて初めての子ども応援・学力向上対策等特別委員会を開催しました。土木委員会委員長から引き続きこの委員会の委員長に替わったのですが、勝手が全く変わって、少々戸惑っています。何に戸惑っているかというと、県教育委員会、保健福祉部、県民生活部等に付託案件がまたがり、答弁席に座っている県当局幹部が多いことです。顔と名前、部署名が直ぐに結びつきません。

これではと思い、事前に少し準備を。その甲斐あってか、2回目の五月二十九日の委員会は、円滑に委員会運営できました。やはり、心の余裕があるかどうかは大きいです。経験や準備を大切にしていきたいと思っています。

(M・O)